

スタディー・ガイド

第 1 回勉強会配布資料

経理勉チューター陣一同

2008.04.18

1. 勉強会について
2. 勉強会の仕組みと内容
3. カリキュラム紹介
 - マクロ経済学演習（浜田）
 - 日本経済史（小野）
 - 世界経済史（坂庭）
4. 勉強会参加者アンケート

1. 勉強会について

I. 参加にあたって用意していただきたいモノ

- ・配布資料（事前に勉強会 Web サイトよりダウンロード+印刷。後述。）
- ・筆記具
- ・ノート 1 冊（メモ+問題演習用）
- ・PC メールアドレス（Web 上の無料メールでも可）1 つ
- ・インターネットに接続できる環境（大学ネットワークアカウント、他）
- ・PDF ファイルの読み取りソフト（adobe reader ほか、ネットでタダで手に入る）
- ・共通認証システム（keio.jp）アカウント
- ・勉強会での積極的な発言

II. 勉強会 HP について

経済理論勉強会@慶應霞会：<http://www.geocities.jp/windcadenza24/>

※チーフの私的サイトであり、霞会公式 HP ではありません。（実験段階）

霞会 HP→勉強会案内→経済理論勉強会→ムダに長い紹介文の後ろにリンクあり

内容

- ・参加者への情報連絡（イベントの紹介、各種変更事項など）
- ・勉強会の紹介
- ・勉強会で使用するレジュメ、資料（過去のものを含む）の閲覧、ダウンロード
- ・学習の補助となるコンテンツの提供（用語集、統計データなど。現在計画中）

問い合わせ・Up 資料の提出・提案・苦情など

浜田諒（26 期経理勉チーフ） hamadryad1@a8.keio.jp

（営業時間 6 : 00 ~ 23 : 00）

III. 勉強会予定

開催日時：原則金曜 6 限（18 : 15 ~ 19 : 30）

*メンバーの希望や休日などに合わせて週当たりの回数、曜日、時限など変更する可能性あり。

第 2 回 4 月 25 日（金）6 限 J416

第 3 回 5 月 2 日（金）6 限 後日連絡

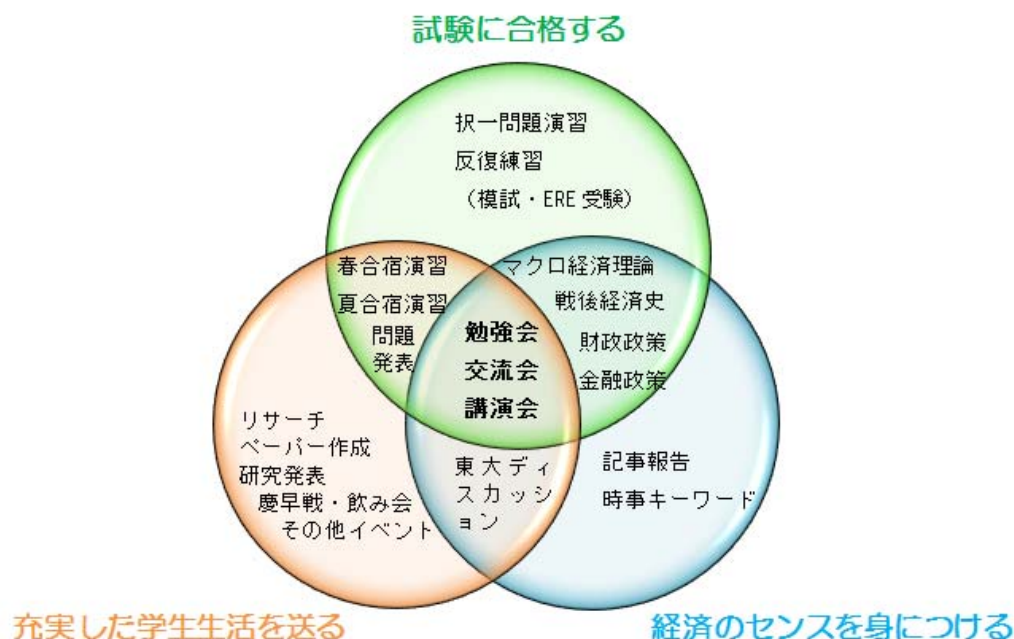
2. 勉強会の仕組みと内容

I. 勉強会の内容

- 経済学小嘶（「E-thinkingのススメ」） 5分
経済学の考え方について雑談チックに紹介（浜田）
- 記事報告 10分
今週の経済トピックについて報告、発表（発表者を全員で輪番）
- 経済史プレゼンテーション 15～30分
戦後経済史の基礎的な知識の確認。理論への応用。教養試験対策（小野・坂庭）
- 演習問題復習 0分～15分
前回の問題について、疑問点を担当者に質問
- マクロ経済学プレゼンテーション 20～30分（浜田）
経済原論（基礎マクロ経済学）の理論の理解
- 質疑応答・問題割り当て
公務員試験過去問を参加者に割り当て

基本構想 3つの大きな目標

- （公務員・学期末）試験に合格する
- 経済のセンスを身につけ世界情勢のより深い把握に努める
- 充実した学生生活（霞会生活）を送る

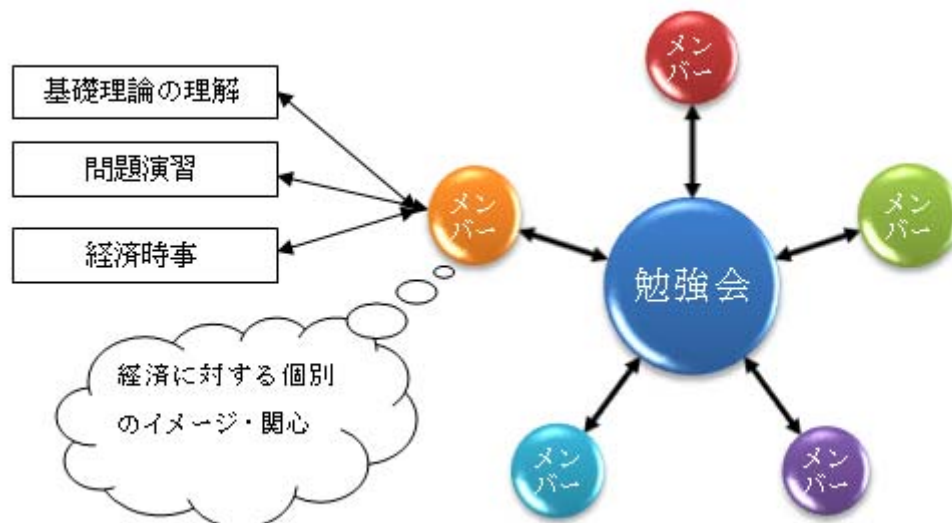


※あくまで予定であり、参加者の希望、運営状況などを鑑みて変更する可能性があります。

II. 勉強会の流れ

勉強会以外でやっていただきたいこと

- ✓ 次回の勉強会の資料、レジュメ等のダウンロード、印刷（予習）
- ✓ 前回の問題演習 → 次回に答え合わせ（できるだけ全てやってみてください。）
- ✓ 割り当てられた問題の解答作成（手書き可）、考察。
 - チーフにデータで送信（HP 上にアップ、メンバー全員に公開）
 - （質問者がいれば）勉強会でプレゼン
- ✓ 経済関連の記事（新聞、雑誌、ネット、単行本）に可能な限り目を通す
- ✓ 興味を持った経済記事の精読（要約、キーワード調査 週に最低 1 記事）
 - チーフにデータで送信（HP 上にアップ、メンバー全員に公開）
 - 担当者は勉強会で発表、（質問がでたら）プレゼン



3. カリキュラム紹介

①マクロ経済学入門（担当：浜田）

社会を構成する3つの主要市場（財市場、貨幣市場、労働市場）に対するマクロ経済学の分析手法について学ぶ。公務員志望者が多く参加することを想定して、一国の経済水準がどのように決定されるのか（国民所得決定理論）、その中での財政政策や金融政策のあるべき姿とは何かについて重点的に考察したい。択一過去問題の演習により知識の定着、実践力の訓練を行う。

回数	テーマ	内容
1	経済学入門	希少性、限界概念 についての理解
2	45度線分析	有効需要の原則 生産・消費関数 経済循環 財市場における国民所得決定 インフレ・デフレギャップとその対策
3	乗数理論	乗数効果とそのメカニズム、均衡財政乗数 貯蓄パラドックス
4	SNA と GDP 統計	国民経済計算についての基本知識 IS バランス論
5	IS 曲線	貯蓄と投資の関係 投資と利子率の関係 IS 曲線の導出
6	LM 曲線	貨幣市場の需給均衡 貨幣の保有動機 LM 曲線の導出
7	ISLM 分析	「クラウディングアウト」と「流動性のわな」
8	ISLM 分析入門②	より具体的なモデルを用いた比較静学 計残力、実践力 UP
9	国際経済学入門①	国際収支と為替相場について BP 曲線の導出
10	国際経済学入門②	為替制度と資本移動と財政・金融政策の効果（MF モデル）
11、12	補講	復習や発展問題の演習のための予備日

②戦後日本経済史（担当：小野）

終戦直後から小泉内閣までの日本経済および社会を概観する。個々の事象の詳細よりも「なぜこのような現象に至ったか」という時代の大きな流れに着目して説明を行う。ただし、理論の応用が可能な場合は復習もかねて積極的に考察を加える。

回数	テーマ	内容
1	戦後復興期①	終戦～1950年代初頭まで 経済の民主化とその社会的背景
2	戦後復興期②	傾斜生産方式と緊縮財政 高度経済成長への足がかり
3	高度経済成長	成長のメカニズムと資本の流れ
4	成長後の経済	石油危機 新保守主義 貿易問題
5	バブルと平成不況	バブル経済とその崩壊のメカニズム 失われた10年
6	現代日本経済	改革、景気回復の試み 貯蓄から投資へ 量的緩和政策
7	補講	予備日

②戦後世界経済史 （担当：坂庭）

マクロ的な視野から戦後の世界経済体制について概説する。主に高校で世界史、政経を履修しなかった新入生への基礎知識提供を行うと同時に、それらが現在の経済問題へいかに結びついていくかについて考察する。

回数	テーマ	内容
1	経済学説史	重商主義～ケインズ、マルクス経済学、近代経済学の概要
2	戦後経済体制	IMF、GATT ブレトンウッズ体制
3	国際通貨体制	為替相場制度 金ドル本位体制成立とその崩壊
4	国際貿易体制	GATT WTO FTA、EPA 多角的貿易交渉とその課題点
5	米国経済史①	冷戦下の米国経済 偉大なる社会計画 双子の赤字
6	米国経済史②	ベトナム戦争後の米国経済 IT バブル （サブプライム問題）
7	補講	予備日

4. 参加者登録・アンケート

本日のガイダンスをふまえ、経理勉にご参加いただける方は以下の項目にご記入お願いいたします。ご記入いただきました個人情報、勉強会メーリス作成と、今後の勉強会の円滑な運営のために用いさせていただきます。それ以外の用途には決して使用しませんので、ご協力お願いいたします。なお、この用紙を提出していただいた際にHP ファイルのパスワードをお知らせします。

※ 勉強会 HP 上のファイルの閲覧・ダウンロードは一部を除き、
全てパスワードの入力が必要です。

お名前		学部（学科） 学年	
携帯メールアドレス			
PC メールアドレス (添付ファイルの送受信ができるもの フリーメール可)			
次の PC ソフトの内、使い方に不安のあるものは○をつけて下さい	・ Word ・ Power Point ・ EPSON Scan(日吉 ITC) ・ Adobe PDF maker（日吉 ITC）		
他に参加している勉強会（該当するものに○）	憲法 民法 国際法 外交		
兼サーの有無（同上）	有・無		
今（来）学期授業で経済原論に関する何らかの授業を	履修する ・ 履修しない	将来の進路として 国家公務員試験の受験を	・ 考えている ・ 少しは考えている ・ 全く考えていない
もし種別まで考えていたら教えてください	国Ⅰ（行政・法律・経済） 外専 国税官 地上 その他・資格試験など（ ）		
高校で履修した社会科の科目に○をつけて下さい	・ 日本史（戦後） ・ 世界史（16C～） ・ 政経 ・ 地理（人文地理） ・ 倫理		
勉強会へのニーズが特にありましたら教えて下さい（ある程度バランス良い運営を行います）	・ 試験対策重視（多くの問題演習による実践力強化） ・ 経済学理論重視（基礎理論のゆっくり確実な理解） ・ 教養重視（経済時事の把握、周辺知識の拡充） ・ その他（ ）		
経理勉への参加を決められたきっかけを教えてください	・ 入会資料（パンフレット） ・ 入会説明会 ・ 友人などの紹介 ・ 勉強会HP ・ 勉強会合同オリエンテーション ・ その他（ ）		

※ご協力ありがとうございました。ご意見、ご提案などありましたら裏にお願いします。